

〈荊芥連翹湯〉

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 60代	不明 (不明)	5.0g 34日間	間質性肺炎 投与34日目 (投与中止日) 中止5日後 中止6日後 中止7日後 中止14日後 中止18日後 中止27日後	発熱と咳嗽が出現。近医を受診し、アセトアミノフェン、デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物、L-カルボシステインを処方され、様子を見ていたが症状の増悪を認めた。 再診。胸部X線、採血を実施。 夕方に当院救急外来を受診。 両側肺野に浸潤影SPO ₂ 80%(room air)で入院加療することとなった。胸部CTにもびまん性のスリガラス状陰影、小葉間隔壁の肥厚を認め、ARDS、カリニ、薬剤性肺炎、IP急性増悪が疑われ、抗生剤の投与を開始。ステロイド投与は翌日に気管支ファイバースコープ(BF)を行う予定であったため、この日の投与は見送った。 未明に呼吸状態の悪化を認めたため、ステロイドパルス(メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム 1g×3)を行った。以降、呼吸状態の改善を認めた。 プレドニゾロン30mg×6日実施。 酸素投与終了。 気管支鏡検査施行し、CD4/CD8比の低下、TBLBではBOOP様の所見を認めていた。 退院。

臨床検査値

	中止6日後	中止7日後	中止13日後	中止22日後
白血球数(/mm ³)	12600	11600	6600	7100
LDH(IU/L)	577	500	245	210
KL-6(U/mL)	—	342	—	—
SP-D(ng/mL)	—	110	—	—
CRP(mg/dL)	27.4	—	—	—

免疫血清検査

	中止6日後	中止7日後
抗核抗体	陰性	—
RAテスト	陰性	—
抗DNA抗体	陰性	—
抗SS-A/Ro抗体	—	陰性
抗SS-B/La抗体	—	陰性

血液ガス

	中止7日後	中止26日後
PaCO ₂ (torr)	28	41
PaO ₂ (torr)	68	101
HCO ₃ (mEq/L)	17	27.4

併用薬: アセトアミノフェン, デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物, L-カルボシステイン

〈二朮湯〉

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
2	男 70代	肩関節痛 (なし)	7.5g 178日間	薬剤性肺障害 投与開始日 投与約3ヵ月目 投与178日目 (投与中止日) 中止15日後 中止35日後 中止147日後	肩こりに対し本剤投与開始。 咳の自覚, 近医にて胸部異常影指摘受けるも経過観察となる。 呼吸困難増悪にて当院紹介。同日入院後, 投与中止。 徐々に改善傾向認めていたが, 回復遅くステロイド内服開始。 退院となる。 ステロイド中止後も再発ないこと確認。	
臨床検査値						
		投与178日目 (投与中止日)	中止14日後	中止34日後	中止49日後	中止77日後
	KL-6(U/mL)	8502	5254	2333	1205	669
血液ガス						
		投与178日目 (投与中止日)	中止49日後			
	pH	7.461	7.434			
	PaCO ₂ (torr)	29.0	34.6			
	PaO ₂ (torr)	66.1	83.8			
	HCO ₃ (mEq/L)	20.3	22.7			
併用薬:なし						